

各関係機関の長 殿

鹿児島県病虫害防除所長

平成17年度 技術情報第5号(普通期水稻のコブノメイガ)について(送付)

普通期水稻のコブノメイガについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

## 平成17年度 技術情報第5号

水稻海外飛来性害虫のコブノメイガの飛来状況等については、7月21日付けで技術情報第3号を発表しましたが、7月第2～3半旬の飛来に由来する第1世代成虫の発蛾最盛日を予測するにあたり、7月28日に第1世代幼虫の齢期調査を行った結果、3.9齢でした。

このことなどから、鹿児島市での7月第2～3半旬の飛来に由来する第1世代成虫の発蛾最盛日は、当初の予測どおり8月10日頃と予測されたので、適切な防除に努めてください。

1. 対象病害虫 コブノメイガ

2. 対象作物 普通期水稻

### 3. 飛来(発生)状況

農業試験場内(鹿児島市上福元町)におけるコブノメイガのほ場追い出し虫数(2005年)  
(水稻ほ場 100m<sup>2</sup>当たり成虫数)

月/日	7/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
早期水稻	0	0	0	0	0	8	51	57	31	4

月/日	7/11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
早期水稻	7	12	30	28	40	7	2	1	(調査終了)	
普通期水稻						5	2	1	1	2

月/日	7/21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
普通期水稻	5	1	4	0	1	6	9	22	5	11	12

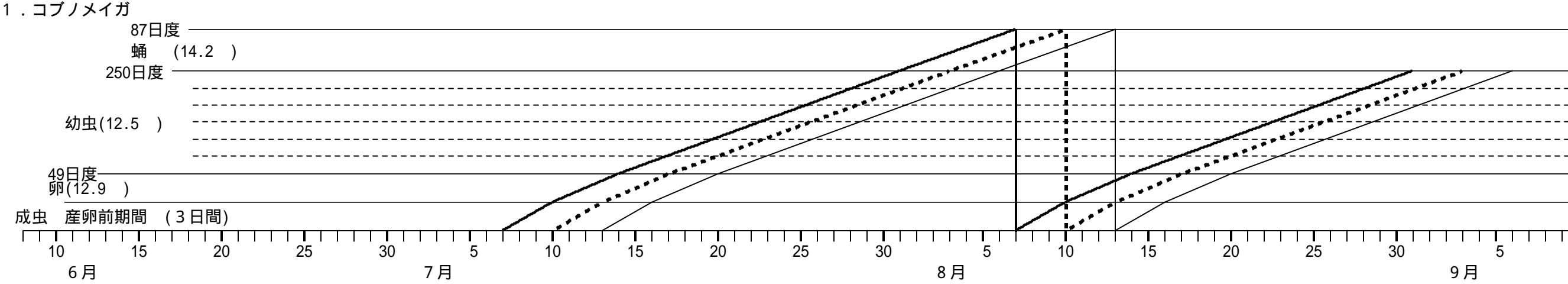
### 4. 防除上注意すべき事項

- (1) 8月以降は箱施薬剤の効果は無くなるとともに、止葉を含む上位3葉への被害は収量・品質に影響するので、次世代幼虫を対象に防除を行う。
- (2) 鹿児島市での7月第2～3半旬の飛来に由来する第1世代成虫の発蛾最盛日は、8月10日頃と予測される(別紙, 発生予測図参照)。
- (3) 粉剤または液剤などで防除を行う場合は、発蛾最盛日の7～10日後(8月17日～20日)が防除適期である。

また、粒剤で防除を行う場合は、発蛾最盛日(8月10日)に、ほ場に水を溜めてから散布する。

# 海外飛来性害虫の有効積算温度による発生経過予測（鹿児島市を基準とする）

2005年 7月29日 作成  
病害虫防除所



(注) 気温の低い地域では予測より2～4日程度遅くなる。